



## BAR HG シリーズ

### 取扱説明書

## WAN 側設定編

本書では、BAR HGシリーズの「WAN側設定」の手順について記載しています。

『取扱説明書・セットアップガイド』『STEP4 設定ユーティリティを見てみよう』の「WAN(WAN側設定)～インターネット(WAN)側の設定をする～」「Status(ステータス)～現在の接続状態を表示する～」の記載については、本書を参照してください。

---

#### 目次

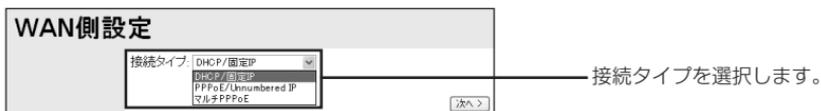
- WAN (WAN側設定) ～インターネット (WAN) 側の設定をする～ …… 1
  - Status (ステータス) ～現在の接続状態を表示する～ …………… 14
-

## ● WAN (WAN側設定) ～インターネット (WAN) 側の設定をする～

WAN側のIP アドレス、デフォルトゲートウェイアドレス、DNSサーバーアドレスの設定、PPPoEの設定などインターネットに接続するための基本となる設定を行います。ご契約されたプロバイダーの接続タイプに合わせて設定してください。「Wizard」で設定済みの場合は、その設定内容が表示されます。

☒ 通常は「Wizard」から設定を行ってください。

- 1 メニューから「WAN」ボタンをクリックします。
- 2 ご契約のプロバイダーの接続タイプを選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



### ・DHCPを利用する場合 (P.2)

プロバイダーからIPアドレスが特に指定されていない場合に選択します。DHCP機能を利用して、IPアドレスが自動的に割り当てられます。

リストから「DHCP/固定IP」を選択してください。

### ・固定IPアドレスで接続する場合 (P.3)

プロバイダーから固定IPアドレスを取得している場合に選択します。

リストから「DHCP/固定IP」を選択してください。

### ・PPPoE接続の場合 (P.4)

PPPoEと呼ばれる接続手順を使ってインターネットに接続する場合に選択します。プロバイダーよりユーザー名とパスワードが割り当てられます。

リストから「PPPoE/Unnumbered IP」を選択してください。

### ・Unnumbered IP機能によるPPPoE接続の場合 (P.6)

プロバイダーから複数のWAN側のIPアドレス(グローバルIPアドレス)を取得し、PPPoE接続する場合に選択します。

リストから「PPPoE/Unnumbered IP」を選択してください。

☒ Unnumbered IP機能とは、プロバイダーから取得した複数のWAN側のIPアドレス(グローバルIPアドレス)をパソコンに割り当てて使用することができる機能です。インターネットに公開することにより、Webサーバーやメールサーバー、DNSサーバーなどを運用することができます。

### ・マルチPPPoE接続の場合 (P.8)

PPPoEセッションを同時に二つ使用する場合に選択します。

リストから「マルチPPPoE」を選択してください。

☒ 本製品は、1つのブロードバンド回線で、通常インターネットに接続するPPPoE接続(セッション1)とは別に、特定の接続先に他の経路(セッション2)で接続できます。これによりインターネットサービスプロバイダーと接続したまま、同時にPPPoEを利用したサービスを利用することができます。

< DHCP を利用する場合 >

WAN - DHCP/固定IP

ホスト名:

ドメイン名:

備考:プロバイダーから指定がない場合は空白で設定してください。

IPアドレス

IPアドレス自動取得(DHCP)

固定IPアドレス

DNS

自動取得

優先DNSサーバー:

① ② ③ ④ ⑤

設定が終了したら「保存」ボタンをクリックします。

項目名	入力例	説明
①ホスト名	—	プロバイダーからホスト名を指定されている場合、または独自にドメイン名をお持ちの場合に、入力してください。指定がない場合は空欄にしてください。 ※入力可能な文字は、半角の英数字、記号で19文字までです。
②ドメイン名	—	プロバイダーからドメイン名を指定されている場合、または独自にドメイン名をお持ちの場合に、入力してください。指定がない場合は空欄にしてください。 ※入力可能な文字は、半角の英数字、記号で50文字までです。
③IPアドレス自動取得 (DHCP)	—	DHCP機能を利用してIPアドレスを自動的に取得する場合、プロバイダーからIPアドレスを自動的に割り当てられる場合(CATV等)に有効にします。 ※工場出荷時は、「有効」になっています。
④自動取得	—	プロバイダーよりDNSサーバーを自動設定するような指示があった場合、または特に指示がなかった場合に選択します。 ※工場出荷時は、「有効」になっています。
⑤優先DNSサーバー	12. 34. 56. 98	プロバイダーからDNSサーバーのIPアドレスを指示された場合に選択し、指定されたIPアドレスを入力します。 ※工場出荷時は、「無効」になっています。

## <固定 IP アドレスで接続する場合>

### WAN - DHCP/固定IP

ホスト名:  ①

ドメイン名:  ②

備考: プロバイダーから指定がない場合は空白で設定してください。

IPアドレス

IPアドレス自動取得(DHCP)

固定IPアドレス ③

IPアドレス     ④

サブネットマスク     ⑤

ゲートウェイ     ⑥

DNS

自動取得

優先DNSサーバー     ⑦

設定が終了したら「保存」ボタンをクリックします。

項目名	入力例	説明
①ホスト名	—	プロバイダーからホスト名を指定されている場合、または独自にドメイン名をお持ちの場合に、入力してください。指定がない場合は空欄にしてください。 ※入力可能な文字は、半角の英数字、記号で19文字までです。
②ドメイン名	—	プロバイダーからドメイン名を指定されている場合、または独自にドメイン名をお持ちの場合に、入力してください。指定がない場合は空欄にしてください。 ※入力可能な文字は、半角の英数字、記号で50文字までです。
③固定IPアドレス	—	プロバイダーから固定IPアドレスを割り当てられている場合（固定IPサービス等）に有効にします。 ※工場出荷時は、「無効」になっています。

項目名	入力例	説明
④IP アドレス	12. 34. 56. 78	プロバイダーから指定されたIP アドレスを入力します。
⑤サブネットマスク	255. 255. 255. 255	プロバイダーから指定されたサブネットマスクのアドレスを入力します。
⑥ゲートウェイ	12. 34. 56. 1	プロバイダーから指定されたゲートウェイのアドレスを入力します。
⑦優先DNS サーバー	12. 34. 56. 98	プロバイダーから割り当てられたDNSアドレスを入力します。 ※工場出荷時は、「無効」になっています。

### < PPPoE 接続の場合 >

#### WAN - PPPoE/Unnumbered IP

**ログイン**

PPPoE接続名:  ①

ユーザー名:  ②

パスワード:  ③

**オプション**

接続方法: トリガー接続 ④

無通信タイマー:  分 ⑤

**IPアドレス**

通常接続 ⑥

Unnumbered IP

**DNS**

自動取得 ⑦

優先DNSサーバー:     ⑧

設定が終了したら「保存」ボタンをクリックします。

項目名	入力例	説明
① PPPoE 接続名	corega	プロバイダーから指定された場合のみ入力します。指定がないときは、入力しないでください。
②ユーザー名	myname@isp.ne.jp	プロバイダーより指定されたユーザー名(プロバイダーによって呼び方が異なる場合があります)を入力します。「フレッツ・ADSL」や「Bフレッツ」の場合、「@」から後ろもすべて入力します。 ※入力可能な文字は、半角の英数字、記号で60文字までです。
③パスワード	Password02	プロバイダーより指定されたパスワード(プロバイダーによって呼び方が異なる場合があります)を入力します。パスワードは画面上では「*」や「●」で表示されます。 ※入力可能な文字は、半角の英数字、記号で25文字までです。

項目名	入力例	説明
④接続方法	トリガー接続	インターネットへの接続方法を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・常時接続:常にインターネットに接続します。何らかの原因で接続が切れた場合、自動的に再接続します。</li> <li>・トリガー接続:パソコンからインターネットへの接続要求があった場合に、自動的に PPPoE 接続を開始します。</li> <li>・手動接続:「Status」から「詳細」ボタンをクリックして表示される「詳細情報 - PPPoE」画面で「接続」ボタンをクリックすることで、PPPoE 接続を開始します。</li> </ul>
⑤無通信タイマー	15	PPPoE接続で無通信状態になってから自動的に PPPoE 接続を切断するまでの時間を設定します。0～99分のあいだで指定してください。 ※0分を設定すると自動では切断しません。「接続方法」で「常時接続」を選択した場合は、「0」分になります。
⑥通常接続	—	ユーザー名とパスワードの認証後、1つのIPアドレスがプロバイダーから割り当てられるサービスをご利用の場合に選択します。 ※工場出荷時は「有効」になっています。
⑦自動取得	—	プロバイダーよりDNSサーバーを自動設定するような指示があった場合、または特に指示がなかった場合に選択します。 ※工場出荷時は、「有効」になっています。
⑧優先 DNS サーバー	12.34.56.98	プロバイダーからDNSサーバーのIPアドレスを指示された場合に選択し、指定されたIPアドレスを入力します。 ※工場出荷時は、「無効」になっています。

## < Unnumbered IP 機能による PPPoE 接続の場合 >

The screenshot shows the configuration page for WAN - PPPoE/Unnumbered IP. It is divided into sections: ログイン (Login), オプション (Options), IPアドレス (IP Address), and DNS. Callouts 1 through 11 point to the following fields:

- ① PPPoE接続名 (corega)
- ② ユーザー名 (myname@isp.ne.jp)
- ③ パスワード (Password02)
- ④ 接続方法 (トリガー接続)
- ⑤ 無通信タイマー (15分)
- ⑥ Unnumbered IP (selected)
- ⑦ IPアドレス (202.87.250.10)
- ⑧ サブネットマスク (255.255.255.248)
- ⑨ タイプ (Unnumbered IP)
- ⑩ 自動取得 (selected)
- ⑪ 優先DNSサーバー (12.34.56.98)

Buttons at the bottom include: <戻る, 保存, キャンセル, ヘルプ. A note on the right says: 設定が終了したら「保存」ボタンをクリックします。

項目名	入力例	説明
① PPPoE 接続名	corega	プロバイダーから指定された場合のみ入力します。指定がないときは、入力しないでください。
② ユーザー名	myname@isp.ne.jp	プロバイダーより指定されたユーザー名(プロバイダーによって呼び方が異なる場合があります)を入力します。「フレッツ・ADSL」や「Bフレッツ」の場合、「@」から後ろもすべて入力します。 ※入力可能な文字は、半角の英数字、記号で60文字までです。
③ パスワード	Password02	プロバイダーより指定されたパスワード(プロバイダーによって呼び方が異なる場合があります)を入力します。パスワードは画面上では「*」や「●」で表示されます。 ※入力可能な文字は、半角の英数字、記号で25文字までです。
④ 接続方法	トリガー接続	インターネットへの接続方法を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・常時接続:常にインターネットに接続します。何らかの原因で接続が切れた場合、自動的に再接続します。</li> <li>・トリガー接続:パソコンからインターネットへの接続要求があった場合に、自動的に PPPoE 接続を開始します。</li> <li>・手動接続:「Status」から「詳細」ボタンをクリックして表示される「詳細情報 - PPPoE」画面で「接続」ボタンをクリックすることで、PPPoE 接続を開始します。</li> </ul>

項目名	入力例	説明
⑤無通信タイマー	15	PPPoE接続で無通信状態になってから自動的に PPPoE 接続を切断するまでの時間を設定します。0～99分のあいだで指定してください。 ※0分を設定すると自動では切断しません。「接続方法」で「常時接続」を選択した場合は、「0」分になります。
⑥ Unnumbered IP	—	プロバイダーから複数の WAN 側の IP アドレスを取得し、PPPoE 接続する場合に選択します。 ※工場出荷時は、「無効」になっています。
⑦ IP アドレス	202.87.250.10	プロバイダーから指定された IP アドレスを入力します。
⑧サブネットマスク	255. 255. 255.248	プロバイダーから指定されたサブネットマスクのアドレスを入力します。
⑨タイプ	Unnumbered IP	メニューから、使用するタイプを選択します。 ・ Unnumbered IP : WAN 側の IP アドレスを複数使用する場合。 ・ Unnumbered IP + Private : WAN 側の IP アドレスと、LAN 側の IP アドレスを同時に使用する場合。
⑩自動取得	—	プロバイダーより DNS サーバーを自動設定するような指示があった場合、または特に指示がなかった場合に選択します。 ※工場出荷時は、「有効」になっています。
⑪優先 DNS サーバー	12.34.56.98	プロバイダーから DNS サーバーの IP アドレスを指示された場合に選択し、指定された IP アドレスを入力します。 ※工場出荷時は、「無効」になっています。

## < マルチ PPPoE 接続の場合 >

- 注意!**
- ・ PPPoEサービスを提供している回線が、Bフレッツ・ベーシックタイプなどのように、複数の接続に対応している必要があります。
  - ・ 利用のための契約や登録が必要であるサービスがあります。事前にそれらを完了しておいてください。
  - ・ 2セッション目の接続でのパッチャルサーバー、スペシャルアプリケーション、DMZのご利用はできません。その他マルチPPPoE機能利用時の制限事項については、「マルチPPPoE機能での制限事項」(P.24)を参照してください。

①  
②  
③  
④  
⑤  
⑥  
⑦  
⑧  
⑨  
⑩  
⑪  
⑫

設定が終了したら「保存」ボタンをクリックします。また、接続先設定を保存した後も必ずクリックして、設定を有効にしてください。

項目名	入力例	説明
① PPPoE 設定	アカウント2	<p>PPPoE アカウントを登録します。本製品は、5つのPPPoEアカウントを登録でき、それらを切り替えて使用します。「PPPoE設定」アカウントリストから設定内容を変更したいアカウントを選択し、②～⑫の設定を行います。</p> <p>※登録したPPPoEアカウントの設定には、任意の名前を付けることができます。「PPPoE接続名」の入力欄で変更することができます。</p>

項目名	入力例	説明
②接続指定	セッション2	<p>「PPPoE 設定」で選択したアカウントで使用するセッションを選択します。「接続先設定」画面で指定した接続先への通信を検出した場合は、セッション2を使用して接続します。それ以外の通信は、セッション1を使用して接続します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指定なし：選択したアカウントでPPPoE接続しない場合に選択します。</li> <li>・ セッション1：通常インターネットを利用するためのプロバイダーの設定をするときに選択します。</li> <li>・ セッション2：インターネット接続をしたまま、PPPoEを利用したサービスを利用する場合に選択します。「IP アドレス追加」ボタン、または「ドメイン追加」ボタンをクリックして、接続先を指定します。</li> </ul>
③PPPoE 接続名	アカウント2	<p>「PPPoE 設定」を任意の名前で登録できます。「PPPoE設定」アカウントリストから未設定のアカウントを選択した場合、選択したアカウント（アカウント1～5）が自動的に表示されます。</p>
④ユーザー名	myname@isp.ne.jp	<p>プロバイダーより指定されたユーザー名（プロバイダーによって呼び方が異なる場合があります）を入力します。「フレッツ・ADSL」や「B フレッツ」の場合、「@」から後ろもすべて入力します。</p> <p>※入力可能な文字は、半角の英数字、記号で60文字までです。大文字と小文字は別の文字として扱われます。</p>
⑤パスワード	Password02	<p>プロバイダーより指定されたパスワード（プロバイダーによって呼び方が異なる場合があります）を入力します。パスワードは画面上では「*」や「●」で表示されます。</p> <p>※入力可能な文字は、半角の英数字、記号で25文字までです。大文字と小文字は別の文字として扱われます。</p>

項目名	入力例	説明
⑥接続方法	常時接続	インターネットへの接続方法を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・常時接続：常にPPPoE接続した状態になります。何らかの原因で接続が切れた場合、自動的に再接続します。</li> <li>・トリガー接続：パソコンからインターネットへの接続要求があったときに、自動的にPPPoE接続を開始します。</li> <li>・手動接続：「Status」から「詳細」ボタンをクリックして表示される「詳細情報-PPPoE」画面で「接続」ボタンをクリックすることでPPPoE接続を開始します。</li> </ul>
⑦無通信タイマー	0	PPPoE接続で無通信状態になってから、自動的にPPPoE接続を切断するまでの時間を設定します。0～99分のあいだで設定してください。 ※0分を設定すると自動では切断しません。「接続方法」で「常時接続」を選択した場合は、「0」分になります。
⑧自動取得	—	プロバイダーからDNSサーバーを自動設定するような指示があった場合に有効にします。特に指定されていない場合も、「自動取得」を選択します。
⑨マニュアル設定	—	プロバイダーからDNSサーバーのIPアドレスを指定された場合に有効にします。「マニュアル設定」を有効にすると「優先DNSサーバー」と「代替DNSサーバー」の各入力欄が表示されます。
⑩優先DNSサーバー	12.34.56.78	プロバイダーから指定されたプライマリDNSサーバーのIPアドレスを入力します。
⑪代替DNSサーバー	98.76.54.32	プロバイダーから指定されたセカンダリDNSサーバーのIPアドレスを入力します。 ※指定されたDNSサーバーが1つの場合、優先DNSサーバーにアドレスを入力してください。3つ以上のDNSサーバーアドレスを設定する場合は、3つ目以降を「Advanced」－「その他各種設定」の「バックアップDNSサーバー」に入力してください。

項目名	入力例	説明
⑫接続先設定	—	<p>セッション2 を利用して通信する特定の接続先を IP アドレスもしくはドメイン名で指定します。「IP アドレス追加」ボタン、「ドメイン追加」ボタンをクリックして表示される、それぞれの「接続先設定」画面で接続先を登録します。</p> <p>※「接続指定」でセッション2 を選択したときのみ「有効」になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「IP アドレス追加」ボタン：特定の接続先を IP アドレスで指定する場合にクリックします。</li> <li>・「ドメイン追加」ボタン：特定の接続先をドメイン名で指定する場合にクリックします。</li> </ul>

## ・「接続先設定」画面について

セッション2を利用して通信する場合の接続先を設定します。

### < 接続先を IP アドレスで指定する場合 >

1 「接続先設定」で「IPアドレス追加」ボタンをクリックします。

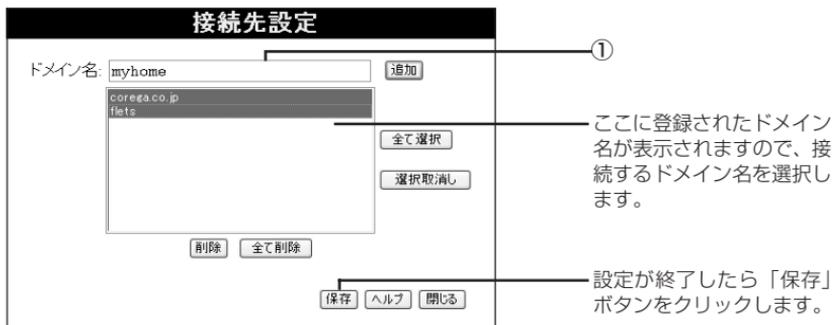


項目名	入力例	説明
① IPアドレス	10.20.30.40	セッション2で通信する接続先のIPアドレスを入力し、「追加」ボタンをクリックしてリストに登録します。最大10個まで登録できます。登録した接続先を有効にするには、リストに表示されているIPアドレスをクリックし、反転表示させてから、「保存」ボタンをクリックして設定内容を保存する必要があります。「Ctrl」キー+左クリック*で複数選択も可能です。 ※Mac OS使用の場合は「コマンド」キー+クリック

2 「閉じる」ボタンをクリックして、マルチPPPoEの設定画面に戻ったら「保存」ボタンをクリックします。

## < 接続先をドメイン名で指定する場合 >

- 1 「接続先設定」で「ドメイン追加」ボタンをクリックします。



項目名	入力例	説明
①ドメイン名	myhome	セッション2で通信する接続先のドメイン名または文字列を入力し、「追加」ボタンをクリックしてリストに登録します。最大10個まで登録できます。登録した接続先を有効にするには、リストに表示されているドメイン名をクリックし、反転表示させてから、「保存」ボタンをクリックして設定内容を保存する必要があります。「Ctrl」キー＋左クリック※で複数選択も可能です。 ※Mac OS使用の場合は「コマンド」キー＋クリック

- 2 「閉じる」ボタンをクリックして、マルチPPPoEの設定画面に戻ったら「保存」ボタンをクリックします。

## ● Status（ステータス） ～現在の接続状態を表示する～

インターネットへの接続状態や本製品のシステム情報などを表示します。利用する接続方式によって表示される画面が異なります。

1 メニューから「Status」ボタンをクリックします。

### < DHCP を利用する場合 >

ステータス	項目	値	注釈
WAN	接続タイプ:	Direct	①
	モデムの状態:	ON	②
	接続状態:	未接続	③
LAN	WAN側 IPアドレス:		④
	LAN側 IPアドレス:	192.168.1.1	⑤
	サブネットマスク:	255.255.255.0	⑥
システム	DHCPサーバー:	ON	⑦
	デバイス名:	HG00088E	⑧
	ファームウェアバージョン:	Version 1.2	⑨

### < 固定 IP アドレスで接続する場合 >

ステータス	項目	値	注釈
WAN	接続タイプ:	Direct	①
	モデムの状態:	ON	②
	接続状態:	接続中	③
LAN	WAN側 IPアドレス:	12.34.56.78	④
	LAN側 IPアドレス:	192.168.1.1	⑤
	サブネットマスク:	255.255.255.0	⑥
システム	DHCPサーバー:	ON	⑦
	デバイス名:	HG00088E	⑧
	ファームウェアバージョン:	Version 1.2	⑨

## < PPPoE 接続の場合 >

ステータス		
WAN	接続タイプ: PPPoE	①
	モデムの状態: ON	②
	接続状態: 接続中	③
	WAN側 IPアドレス: 12.34.56.78 セッション2: 98.76.54.32	④
<input type="button" value="再読み込み"/> <input type="button" value="詳細"/>		
LAN	LAN側 IPアドレス: 192.168.1.1	⑤
	サブネットマスク: 255.255.255.0	⑥
	DHCPサーバー: ON	⑦
システム	デバイス名: HG00088E	⑧
	ファームウェアバージョン: Version 1.2	⑨
	<input type="button" value="ファームウェア更新"/>	
<input type="button" value="システムデータ"/> <input type="button" value="リセット機能"/>		
<input type="button" value="ログ機能"/> <input type="button" value="E-Mail機能"/> <input type="button" value="ヘルプ"/>		

※画面はマルチ PPPoE 設定を使用した場合の例です。

項目名	説明
①接続タイプ	現在、使用されている接続タイプを表示します。
②モデムの状態	現時点での本製品のWANポートとモデム等の機器との接続状態を表示します。 ・「ON」: 接続されています。 ・「OFF」: 未接続です。
③接続状態	現時点での接続状態を表示します。 ・「接続中」: 正常に動作しています。 ・「未接続」: インターネットに接続されていません。
④ WAN側IPアドレス	本製品のWAN側のIPアドレスを表示します。 ※ マルチ PPPoE 設定の場合、「WAN側 IP アドレス」(セッション1)の下にセッション2のIPアドレスも表示されます。
⑤ LAN側IPアドレス	本製品のLAN側のIPアドレスを表示します。
⑥サブネットマスク	本製品のLAN側のサブネットマスクを表示します。
⑦ DHCP サーバー	本製品のDHCPサーバー機能の状態を表示します。「ON」か「OFF」のいずれかが表示されます。
⑧デバイス名	本製品のデバイス名を表示します。デバイス名は「HGXXXXXX」で表示されます。「XXXXXX」は本製品のLAN側のMACアドレスの下6桁の数値です。
⑨ファームウェアバージョン	本製品のファームウェアのバージョンを表示します。

## ボタンについて

ボタン名	説明
再読み込み	最新の接続状態を表示したいときにクリックします。
詳細	接続状態の詳細を表示したいときにクリックします (P.16)。
ファームウェア更新	「ファームウェア更新」画面を表示したいときにクリックします。ファームウェアの更新の方法は、『取扱説明書・セットアップガイド』「STEP3 トラブルや疑問があったら」 「最新のファームウェアを入手してアップデートしたい」 (P.42) を参照してください。
システムデータ	システム情報を表示したいときにクリックします。
リセット機能	本製品のシステムリポート、または工場出荷時の状態に戻すときにクリックします。詳しくは、『取扱説明書・セットアップガイド』 「STEP3 トラブルや疑問があったら」 の「本製品を再起動する」 (P.44) または「本製品を工場出荷時の状態に戻す」 (P.45) を参照してください。
ログ機能	ログ機能の設定を行うときにクリックします (P.21)。
E-mail 機能	E-mail 機能の設定を行うときにクリックします (P.22)。

### ・「詳細情報」画面

インターネットへの接続状態の詳細情報が表示されます。

- 1 メニューから「Status」ボタンをクリックします。
- 2 「ステータス」画面の「詳細」ボタンをクリックします。  
利用する接続方式によって、表示される画面が異なります。

< DHCP を利用する場合 >

### 詳細情報

**WAN**

MACアドレス: 00-c0-02-00-08-65 ①

IPアドレス: \_\_\_\_\_ ②

サブネットマスク: \_\_\_\_\_ ③

ゲートウェイ: \_\_\_\_\_ ④

DNSサーバー: \_\_\_\_\_ ⑤

DHCPクライアント: ON ⑥

リース取得: 0日,0時,0分 ⑦

残りリース時間: 0日,0時,0分 ⑧

書き換え
再読み込み

ヘルプ
終了

⑨
⑩

項目名	説明
① MAC アドレス	本製品の WAN 側の MAC アドレスが表示されます。 ※ LAN 側の MAC アドレスは「ステータス」画面の「システム データ」で確認できます。
② IP アドレス	本製品の WAN 側の IP アドレスが表示されます。
③ サブネットマスク	本製品の WAN 側の IP アドレスに使用するサブネットマスクが表示されます。
④ ゲートウェイ	インターネット接続（送信先のネットワーク）に使用するゲートウェイが表示されます。
⑤ DNS サーバー	インターネット接続（送信先のネットワーク）に使用する DNS サーバーのアドレスが表示されます。
⑥ DHCP クライアント	WAN 側の DHCP クライアント機能の状態が「ON」または「OFF」で表示されます。 ・「ON」：自動的に上記の必要な情報が DHCP サーバーから取得できる状態です。 ・「OFF」：上記の必要な情報は固定で設定されています。「書き換え」ボタンは使用できません。
⑦ リース取得	IP アドレスを取得した日時が表示されます。
⑧ 残りリース時間	IP アドレスが解放されるまでの残り時間が表示されます。
⑨ 書き換え／解放	書き換え：DHCP クライアントが「ON」のときに IP アドレスを取得します。 解放：取得している IP アドレスを解放します。
⑩ 再読み込み	最新の情報を表示します。

<固定 IP アドレスで接続する場合>

詳細情報	
WAN	
MACアドレス:	00-c0-02-00-08-65 ①
IPアドレス:	12.34.56.78 ②
サブネットマスク:	255.255.255.0 ③
ゲートウェイ:	12.34.56.1 ④
DNSサーバー:	12.34.56.98 ⑤
DHCPクライアント:	OFF ⑥
ヘルプ 終了	

項目名	説明
① MAC アドレス	本製品の WAN 側の MAC アドレスが表示されます。 ※LAN側のMACアドレスは「ステータス」画面の「システム データ」で確認できます。
② IP アドレス	本製品の WAN 側の IP アドレスが表示されます。
③サブネットマスク	本製品の WAN側の IP アドレスに使用するサブネットマスクが表示されます。
④ゲートウェイ	インターネット接続（送信先のネットワーク）に使用するゲートウェイが表示されます。
⑤ DNS サーバー	インターネット接続（送信先のネットワーク）に使用する DNS サーバーのアドレスが表示されます。
⑥ DHCP クライアント	WAN側のDHCPクライアント機能の状態が「ON」または「OFF」で表示されます。 ・「ON」：自動的に上記の必要な情報がDHCPサーバーから取得できる状態です。 ・「OFF」：上記の必要な情報は固定で設定されています。

## < PPPoE 接続の場合 >

### 詳細情報-PPPoE

接続指定: セッション1 ①

---

**WAN**

MACアドレス: 00-c0-02-00-08-9d ②  
 IPアドレス: 12.34.56.78 ③  
 サブネットマスク: 255.255.255.0 ④  
 接続状態: ON ⑤

---

**接続ログ**

```
107:Receive 0:3:8C:81:C:1C 0:C0:2:0:8:9D PPPoE_DISC:
1.1 PADS ID=0xE70C len 24
108:set AC:braso01onorID11
105:Receive 0:3:8C:81:C:1C 0:C0:2:0:8:9D PPPoE_DISC:
1.1 PADO ID=0x0 len 43
104:Not acceptable, discard it.
```

ログの削除 ⑦

ヘルプ 終了

⑧
⑨
⑩

項目名	説明
①接続指定	詳細を表示するセッションを「セッション1」と「セッション2」から選択します。
② MAC アドレス	本製品の WAN 側の MAC アドレスが表示されます。 ※ LAN 側の MAC アドレスは「ステータス」画面の「システム データ」で確認できます。
③ IP アドレス	本製品の WAN 側の IP アドレスが表示されます。
④サブネットマスク	本製品の WAN 側の IP アドレスに使用するサブネットマスクが表示されます。
⑤接続状態	現在の接続状態を表示します。 ・「ON」：接続中です。 ・「OFF」：未接続です。 ※ 「接続方法」の設定を「トリガー接続」、または「手動接続」にしている、未接続の場合に「接続」ボタンをクリックすると、インターネットに接続できます。接続中の場合、「切断」ボタンをクリックするとインターネット接続を切断します。
⑥接続ログ	インターネットへの接続ログが表示されます。ログメッセージの詳細は、ヘルプを参照してください。
⑦ログの削除	表示されているログを削除します。
⑧接続	接続状態が「OFF」のときにインターネットへの接続を行います。「接続方法」の設定を「トリガー接続」、または「手動接続」にしているときのみ、使用できます。

項目名	説明
⑨切断	接続状態が「ON」のときにインターネットへの接続を切断します。「接続方法」の設定を「トリガー接続」、または「手動接続」にしているときのみ、使用できます。
⑩再読み込み	最新のログを表示します。

## ・「ログ機能」画面

本製品では、インターネット接続やアクセス制限などのログを残すことができます。

- 1 メニューから「Status」ボタンをクリックします。
- 2 「ステータス」画面の「ログ機能」ボタンをクリックします。

ログ機能

①  インターネット接続ログ ログ情報 削除

②  アクセス制限ログ ログ情報 削除

③  DoS(Denial of Service)アタック検出ログ ログ情報 削除

保存 キャンセル

ヘルプ 終了

項目名	説明
①インターネット接続ログ	チェックを付けるとインターネット接続に関するログを残します。「ログ情報」ボタンをクリックすると現在のログを表示します。「削除」ボタンをクリックするとログが削除されます。 ※工場出荷時は「有効」になっています。
②アクセス制限ログ	チェックを付けるとアクセス制限機能によってブロックされた情報をログに残します。「ログ情報」ボタンをクリックすると現在のログを表示します。「削除」ボタンをクリックするとログが削除されます。 ※工場出荷時は「有効」になっています。
③ DoS (Denial of Service) アタック検出ログ	チェックを付けると DoS (Denial of Service) 攻撃を検出したときにログを残します。「ログ情報」ボタンをクリックすると現在のログを表示します。「削除」ボタンをクリックするとログが削除されます。 ※工場出荷時は「有効」になっています。

- 3 上記項目の設定後、「保存」ボタンをクリックして設定を反映します。

## ・「E-Mail機能」画面

本製品には、E-Mailによるログ情報の配信機能があります。本機能を使用することでDoS (Denial of Service) 攻撃が検出された時に管理者に対してログメールで通知することも可能です。

- 1 メニューから「Status」ボタンをクリックします。
- 2 「ステータス」画面の「E-Mail機能」ボタンをクリックします。

項目名	入力例	説明
① DoS アタック検出時にログを送信する	—	チェックを付けると「送信先 E-Mail アドレス」で設定した E-Mail アドレスに DoS (Denial of Service) 攻撃を検出したときのログを送信します。「ログ機能」画面で「DoS (Denial of Service) アタック検出ログ」を有効にしておく必要があります。 ※工場出荷時は「無効」になっています。
②インターネット接続ログ	—	チェックを付けるとインターネット接続に関するログ情報を E-mail で送信します。「ログ機能」画面で「インターネット接続ログ」を有効にしておく必要があります。 ※工場出荷時は「無効」になっています。
③アクセス制限ログ	—	チェックを付けるとアクセス制限機能を使用してブロックされたログ情報を E-mail で送信します。「ログ機能」画面で「アクセス制限ログ」を有効にしておく必要があります。 ※工場出荷時は「無効」になっています。
④送信	—	ログ情報を送信するタイミングを選択します。ログ一杯になったときに送信する場合は a を選択します。曜日と時間を決めて送信する場合は b を選択して曜日と時間を指定します。 ※ログ情報が増えて本製品のメモリに余裕がなくなった場合、設定よりも前に送信されます。

項目名	入力例	説明
⑤送信先 E-Mail アドレス	corega@xxx.ne.jp	ログ情報の送信先（E-Mail アドレス）を設定します。 ※入力可能な文字は、半角の英数字、記号で32文字までです。
⑥件名	Logs info	「E-Mail ログ送信」を有効にした場合、E-Mail 送信時の件名を入力します。 ※入力可能な文字は、半角の英数字、記号で29文字までです。 ※件名に全角文字を入れた場合、受信側で文字化けする場合があります。
⑦送信用（SMTP） サーバー	12. 34. 56. 1	プロバイダから指定されたメール送信用（SMTP）サーバーのホスト名かIPアドレスを設定します。 ※ホスト名を指定する場合、入力可能な文字は、半角の英数字、記号で49文字までです。
⑧ポート番号	25	送信用（SMTP）サーバーに接続する際に使用するポート番号を設定します。 ※ポート番号は1～65534の半角数字を入力してください。 ※工場出荷時のポート番号は「25」になっています。

**3** 上記項目の設定後、「保存」ボタンをクリックして設定を反映します。

## マルチ PPPoE 機能での制限事項

マルチ PPPoE 接続の設定については、「マルチ PPPoE 接続の場合」(P.8)を参照してください。

<b>WAN側設定</b>	セッション1	セッション2
接続方法	○	○
無通信タイマー	○	○
<b>LAN側設定</b>	セッション1	セッション2
DHCPサーバー	○	○
<b>ステータス</b>	セッション1	セッション2
ログ機能	○	-
E-Mail機能	○	-
<b>アドバンスドインターネット</b>	セッション1	セッション2
登録済みアプリケーション	○	-
スペシャルアプリケーション	○	-
DMZ	○	-
<b>バーチャル サーバー</b>	セッション1	セッション2
バーチャルサーバー	○	-
<b>ダイナミックDNS</b>	セッション1	セッション2
ダイナミックDNS	○	-
<b>アクセス制限</b>	セッション1	セッション2
アクセス制限	○	○
スケジュール設定	○	○
<b>セキュリティ</b>	セッション1	セッション2
ファイアウォール (DoSアタック検出)	○	○
URLフィルター	○	○
ICMPに返答する	○	-
VPN (IPsec・PPTP・L2TP)	○	-
<b>PCデータベース</b>	セッション1	セッション2
PCデータベース登録	○	○
<b>ルーティング</b>	セッション1	セッション2
ダイナミックルーティング (RIP)	○	-
スタティックルーティング	○	-
<b>リモート設定</b>	セッション1	セッション2
リモート設定 (IPアドレス)	○	-
リモート設定 (DDNS)	○	-
<b>その他各種設定</b>	セッション1	セッション2
UPnP	○	-
MTU	○	○

## おことわり

- ・ 本書は、株式会社コレガが作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
- ・ 予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
- ・ 改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。
- ・ 本製品の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

©2002 株式会社コレガ

corega は、株式会社コレガの登録商標です。

フレッツは、東日本電信電話株式会社および西日本電信電話株式会社の登録商標です。

その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標または登録商標です。

2002 年 10 月 Rev.A 初版